

3. 東濃鉾山における調査試験研究

(1) 概要

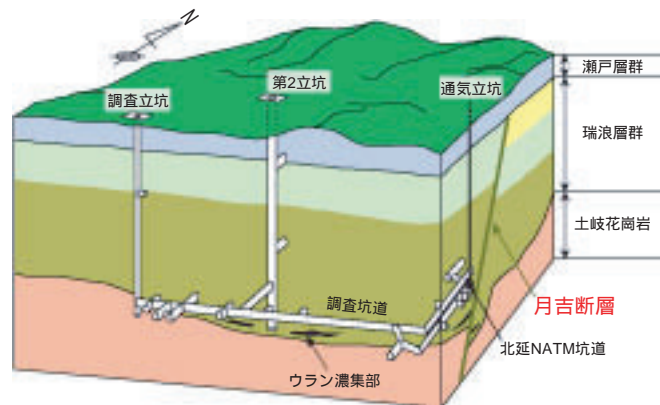
東濃鉾山における調査試験研究では、既存の坑道やボーリング孔を利用したり、地下水や岩石の試料を採取して分析を行うことにより、地下深部における岩盤力学に関する研究、坑道周辺の地質環境に関する研究およびナチュラルアナログ研究を行います。

(2) 平成14年度の業務実績

岩盤力学に関する研究では、これまでに開発した応力測定装置の性能試験および長期岩盤挙動の坑内観測を行いました。坑道周辺の地質環境に関する研究では、ボーリング孔を掘削するときに発生する音から地質構造を推定する調査や地下水の長期観測を行いました。また、ナチュラルアナログ研究として、物質の移動や月吉断層に関する研究を継続し、ウラン鉱床を長期間にわたり保存している地層の特性などを研究しました。



応力測定装置の性能試験



東濃鉾山の概要



岩盤力学挙動の坑内観測



掘削音で地質構造を推定する調査



ナチュラルアナログ研究

(3) 平成15年度の業務計画

東濃鉾山における調査試験研究では、岩盤力学に関する研究として、長期岩盤挙動の坑内観測を継続します。坑道周辺の地質環境に関する研究では、坑道周辺で掘削音により地質構造を推定する装置の適用試験や地下水の観測を継続します。また、ナチュラルアナログ研究では、隆起や侵食、断層の動きが地層中での長期間にわたる物質の移動や保持に与える影響などについて研究を行います。